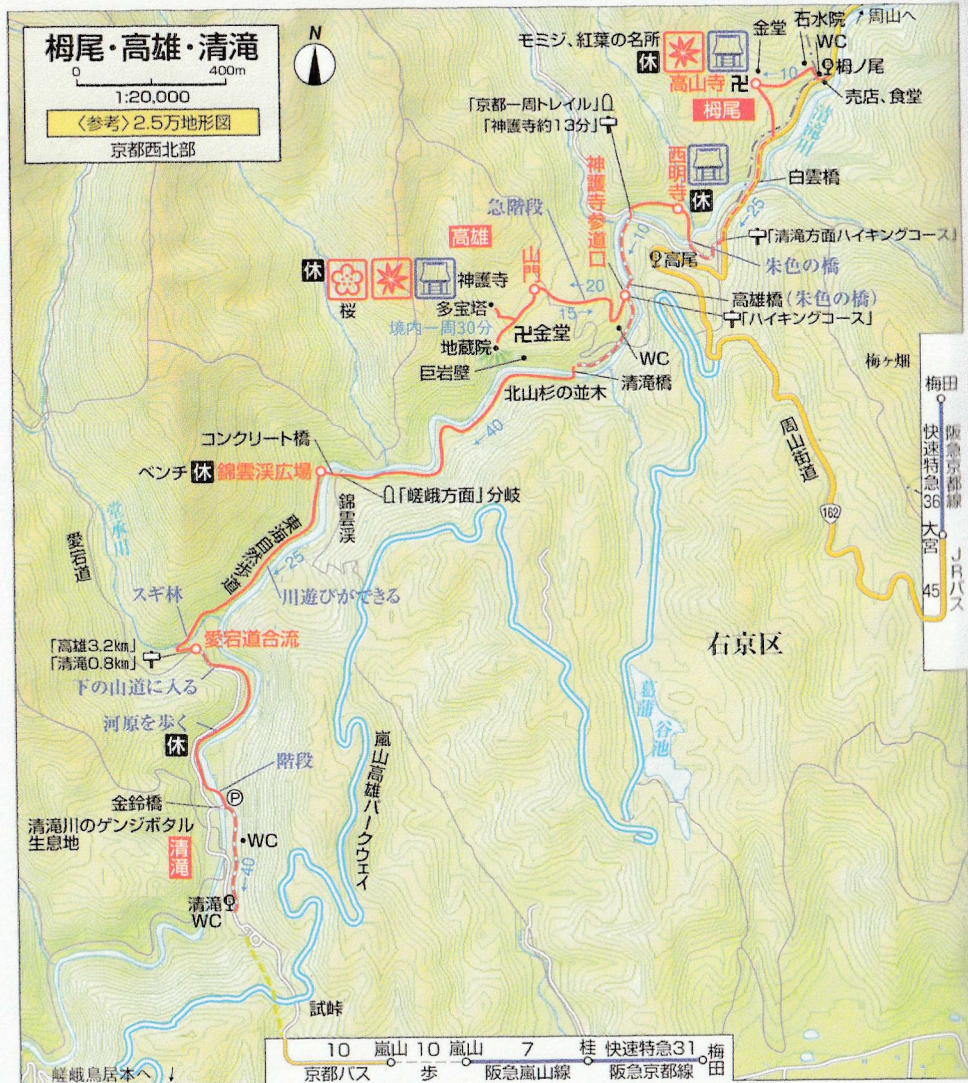
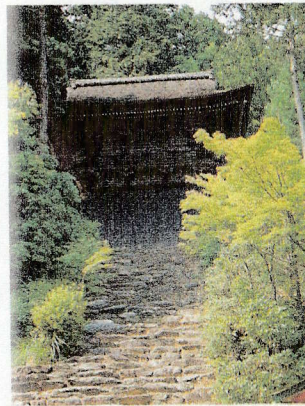


一度、舗装道に出る。左に200mも歩くと、川に向かう山道があるので、こちらに下る。道標はなく、国土地理院の測量用のクイだけが目印なので要注意。見逃してしまった場合は、舗装道を下って行けば、後に金鈴橋で合流する。  
しっかりと山道を下って行くと、やがて河原に出る。ここで最後の一服を入れる。  
河原を進んで行くと左に階段があるので、ここを登る。そのまま進んで行くと清滝バス停にたどり着く。



神護寺山門は風格がある



自然歩道でもある。すぐの丁字路に「清滝方面ハイキングコース」の道標があるので、右の急坂へ下る。すぐ右に朱色の橋が架かっているのので、これを渡り石段を登る。  
市文化財の表門をくぐると西明寺の境内。落ち着いた雰囲気の名刹のひとつで、ここでひと休み。  
境内を通り抜けるように進み、急坂を下る。橋を渡って自然歩道に戻る。川沿いの道を歩き、茶店などが並ぶところを過ぎ、高雄橋を渡る。右の階段が神護寺の参道口。石段の登りが始まる。右に折れ茶店前の坂道を登る。左折し、または階段登りだ。上りつめたところが神護寺山門。境内は、落ち着いた雰囲気、国

重文の建物が建ち並ぶ。ゆつたり過ごせるエリア。  
金堂、多宝塔、大師堂、五大堂、地藏院などを巡るだけでも小一時間を過ごせる。金堂前の広場、眺望のよい地藏院の「かわらけ投げ場」のいずれかが休憩ポイント。  
神護寺を後にし、東海自然歩道に戻る。川沿いに料理旅館などのある道を進む。床のある料理店、吊り橋など渓谷美を楽しめる。とくに、新緑、紅葉のころが美しい。しばらくして、ダムを越えたところの清滝橋を渡ると、山道に変わる。北山杉の並木道だ。対岸に見える



地藏院のかわらけ投げ場は展望ポイントでもある

巨石壁など意外と荒々しい一面もある渓谷をのんびりと歩く。  
嵯峨方面への分岐をやり過ごす。すぐにコンクリート橋が架かっており、広場になっている。ベンチなどもある大休憩ポイント。  
モミジが多く新緑、紅葉が美しいポイントとして錦雲渓と呼ばれているスポット。  
川沿いの道が続く。夏場は岩場や河原で水遊びを楽しむ人も多く、清流で汗を流すと気持ちがいい。

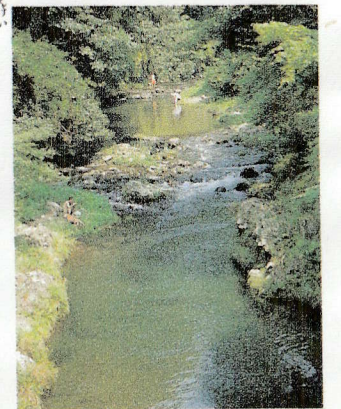
見どころ立ち寄りどころ

**温泉** 乗り換え駅の阪急桂駅前から、無料送迎バスで約8分のところにある。あるいは、桂駅から洛西ニュータウン方面行き市営バスで約5分、三ノ宮バス停で下車し、徒歩5分。  
泉質はナトリウム炭酸水素塩泉。効能は神経痛、筋肉痛、くじき、打ち身、疲労回復、慢性皮膚病など。無休。入浴料は大人600円(土・日・祝日800円)。☎075・393・4500



桂温泉「仁左衛門の湯」

緩やかな下りの静かな渓谷沿いから、木橋を渡りうっそうとした植林地を登る。折り返すように登ると、月輪寺からの道と合流する(愛宕道合流)。



清滝川の河原は絶好の水遊び場